

英国留学だより

文化創造学部助教授 中郷 慶

文化創造学部多元文化専攻の中郷慶助教授の専門は、英語学、生成文法、コーパス言語学、英語発音指導です。2004年秋に渡英し、レディング大学の客員研究員として言語学、英語学の研究に打ち込んでいます。この半年間の留學生活をレポートしてもらいました。

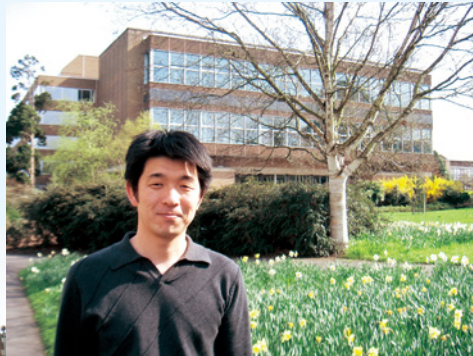


United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

Reading London



学内の建物



レディング大学の図書館前で

自分の研究とならんで、統語論、音声学、音韻論、コーパス言語学などの講義を聴講。久しぶりに教える側から教わる側に立ち、刺激的な研究・教育環境の中、多くを学んでいます。

昨

年9月から1年間、愛知淑徳大学長期国外研修員として英国国立レディング大学 School of Linguistics and Applied Language Studies, The University of Reading)で研究する機会を与えられました。ロンドンの西約65キロに位置するレディング

現在では1万5000人以上の学生が学び、そのうち約3000人が世界130か国以上からの留学生で、国際色がとても豊かです。大学の研究・教育水準は世界的にも名高く、私の専門である言語学・英語

などから学ぶことがたくさんあります。積極的に授業に参加する学生の姿も印象的です。講義では、必要に応じて古い時代の英語への言及はもちろ

グは、地理的・歴史的要因に恵まれ、古くから交通の要所として交易と商業を発達させてきました。ロンドン中心部から列車で25分、イギリスの空の玄関ロヒース口空港からは直通バスで40分と交通の便の良いところです。町の中心を流れるテムズ川では白鳥が泳ぎ、自宅近くではリスやキジ、ウサギやシカも見ることが出来ます。自然が豊かで落ち着いた町です。

野で知られています。中世の荘園を利用して作られた広大なメインキャンパス12ヘクタール、ナゴヤドーム25個分)には池や森もあり、緑豊かな環境で多くの野鳥が羽を休めているのを観察できます。

それぞれの母語についてのコメントが得られるのも刺激的な研究・教育環境だと言えるでしょう。大学から自宅への帰路には、その日に学んだことに対する充実感と、学ぶことの喜びを毎回感じています。

こ

の大学は、1892年にオックスフォード大学のカレッジのひとつとして開学し、1926年に正式にレディング大学として発足しました。

レディング大学では、自統語論、音声学、音韻論、コーパス言語学などの講義を聴講しています。それぞれの研究分野において、新たな専門知識を得ることもできることが、

今 回の研修は、多くの教職員のご理解とご協力ご支援のうえに成り立っています。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。この経験を、今後の愛知淑徳大学の研究と教育に活かしていきたいと考えています。

なく、教わる側に立ってみて、教員の授業の進め方、学生とのコミュニケーションの取り方

などから学ぶことがたくさんあります。積極的に授業に参加する学生の姿も印象的です。講義では、必要に応じて古い時代の英語への言及はもちろ

などから学ぶことがたくさんあります。積極的に授業に参加する学生の姿も印象的です。講義では、必要に応じて古い時代の英語への言及はもちろ